

環境経済委員会報告

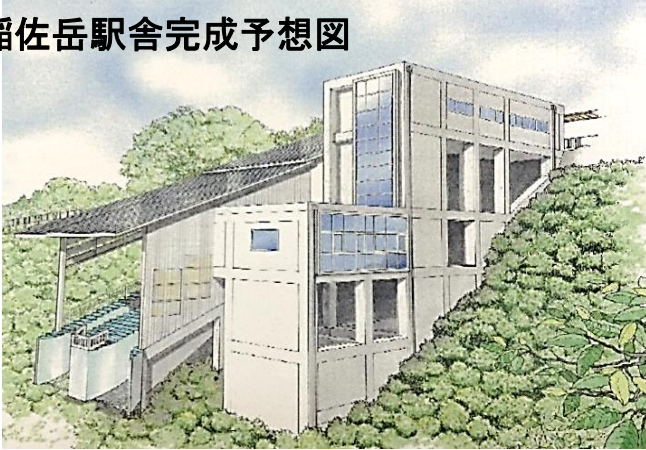
2015年12月議会



第177号議案

観光施設事業特別会計補正予算(第3号)

稲佐岳駅舎完成予想図



いま稲佐山のロープウェイの営業を停止して駅舎の耐震化とバリアフリー化の工事を行っていることは以前にもお伝えしました。その山頂駅(稲佐岳)にエレベーターを設置するための工事で、事前調査が不十分だったために、追加の予算と工期延長が必要になり、急きよ補正予算2,400万円が出され、本会議初日から環境経済委員会を開いて審議することになりました。

工事を発注して実際に工事にかかったところ、現地の斜面構造が設計と違っていたということです。建築部は、周辺を伐採し現地を確認することもなく56年も昔の図面をもとに設計していたことが委員会で分かりました。建築物を造る際、土質の調査や測量をするのは当たり前です。ましてや急峻な斜面に構造物をつくるわけですから事前調査は不可欠です。当然すべき基本的なことを長崎市の専門家集団が行わなかったということは市民の信頼を裏切るものです。しかも9月議会の積算ミスに続く度重なるミスです。

こんな初歩的なミスによる追加工事予算など認めるべきではないのですが、長崎の重要な観光資源の工期がこれ以上延長し休業期間が延びるのは、観光客が押し寄せているこの時期に大損失ですし、バリアフリー対応が必要であるお客さんに迷惑をかけることはできないという判断で、附帯決議をつけ、可決しました。加えて副市長の委員会出席を求め、二度とこのようなミスを繰り返さないように強く求めました。

176号議案 長崎市一般会計補正予算(第5号)

今年度末を以て、茂里町のクリーンセンターが廃止されます。それに代わり、琴海クリーンセンターと長崎半島クリーンセンターを再稼働させますが、この二つのクリーンセンターは運搬に時間を要し、また施設も狭隘で複数の運搬車が同時に処理できないため、2tバキューム車で収集したし尿を茂里町、田中町、川原町で10tバキューム者に詰め替えて運搬するしかありません。その詰め替え作業の場所を確保するため、また運搬距離が延びることに伴う燃料費の補助など、約3,600万円の予算を計上することとなりました。



“式見ハイツ”が“あぐりの丘高原ホテル”へ

式見ハイツの運営を委託していた業者が変わったことは前回お知らせしました。その新しい事業所から、名称を「あぐりの丘高原ホテル」とし、ブライダルもできるようチャペルを造作したいという申し入れがあり、市は地域への十分な説明と新たな施設の維持管路と原状回復等を条件に認めたいとの報告がありました。



やすらぎ伊王島の民間への売却方針



「やすらぎ伊王島」は、旧伊王島町が民間から買い取り、長崎市との合併によって市の財産となり、現在指定管理者によって運営されています。しかし今後の施設の維持管理費を考え、市は売却を検討しています。一方現在の指定管理業者は地元雇用を積極的に行っており、買い取りに前向きということで、現在値段交渉が行われているとのことでした。

この一年、市民クラブが大変お世話になりました。来年も市民生活の向上に向けてしっかり取り組んでまいりますので何卒よろしくお願いたします。
どうぞよいお年をお迎えください。

